

出張報告

報告日 令和6年3月28日

会派名	柏崎の風
報告者氏名	星野正仁、春川敏浩、山本博文、柄沢均、阿部基、上森茜、近藤由香里、田邊優香、三嶋崇史
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	自由民主党総務会長・新潟県選出国會議員 訪問
日時	令和6年3月28日（木）9：45～11：15
場所 （会場）	参議院議員会館・衆議院第二議員会館（東京都千代田区永田町2-1-1・2）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概要	<p>令和6年3月に柏崎市議会および刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を採択したことを受け、国の新規制基準に適合する号機の早期再稼働を実現するための要望を行った。</p> <p>【森山 裕 自由民主党総務会長】 再稼働に向けた立地自治体の努力は理解している。原子力発電所が稼働しているエリアの電気料金は下がっているが、柏崎刈羽原子力発電所の場合は立地地域に電力供給していないため、即座に電気料金が下がるわけではなく、直接的なメリットを感じにくい。避難道路整備への予算措置など、国としてしっかりと取り組み、地元合意形成に向けて新潟県知事や県議会に対する理解促進を図りたい。</p> <p>* 3チームに分かれ、新潟県選出の国會議員事務所をまわり、要望活動を行った。佐藤信秋 参議院議員/自由民主党新潟県連会長、鷲尾英一郎 衆議院議員、細田健一 衆議院議員、高鳥修一 衆議院議員、斎藤洋明 衆議院議員には直接要望書を手渡すことができた。塚田一郎 衆議院議員、国定勇人 衆議院議員、小林一大 参議院議員は不在のため事務所職員に要望書を預けた。</p>
所感等	<p>森山総務会長の地元である鹿児島県では、川内原子力発電所の高経年化運転が課題となり、原子力発電所を巡る「地元合意」の大変さは理解していると伺った。</p> <p>請願の趣旨である「国の新規制基準に適合すると判断された号機の早期再稼働」は、国のエネルギー政策と合致しており、政府与党である自由民主党に属する地方議員や地方支部は政策実現に協力するのが筋である。自由民主党新潟県連および新潟県議会に対する働きかけを期待したい。</p>